

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護教育論	NSP44_006	選択	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
坂本 文子 他	418	fumiko.sakamoto	月～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	学生自身の受けてきた教育をとおし、教育とは何かについて考え、高等教育の原点としての主体的学習の意義と重要性を理解する。それを受け看護師養成教育と看護継続教育の変遷と現状・法的基盤についての知識を得ると共に、看護学教育のカリキュラム、教育方法、学習方法、授業評価について理解し、日本における看護学教育のこれからのあり方について同時双方向型授業で学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	看護は専門職であり、常により良い看護を探求していくための自己教育力を高めることが求められる。教育とは看護学教育とはについて学び、学生自身の受けてきた教育体験を振り返り「教えることと学ぶこと」について文献やグループワークを通して考える。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	看護教育学/ グレグ美鈴、池西悦子 編集/南江堂/2018 人を育てる看護教育/見藤隆子/医学書院/1987 教育評価/梶田敏一/有斐閣双書/2010				
外部教材	必要時授業内で紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護教育と看護学教育について説明できる。		HSU(1)、NS(1)～(5)		
②	看護教育の歴史的背景について説明できる。		HSU(1)、NS(1)～(5)		
③	教育評価に関する意見を他者に説明できる。		HSU(1)、NS(1)～(5)		
④	自己の4年間の看護についての学びの意義を説明できる。		HSU(1)、NS(1)～(5)		
⑤	自己の看護職としてのキャリア形成の展望と課題について説明できる。		HSU(1)、NS(1)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護教育と看護学教育、大学で学ぶこと	講義	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
2	看護教育の歴史的背景	講義	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
3	看護基礎教育と継続教育 認定看護師、専門看護師など専門資格について	講義	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
4	教育活動の目標と評価	講義	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
5	看護職としての学びを考える(グループワーク)	グループワーク	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
6	看護職としての学びを考える(発表)	プレゼンテーション	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
7	看護職としてのキャリア形成	講義	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
8	自己のキャリア形成の展望と課題	グループワーク プレゼンテーション	事前課題に取り組む。 事後課題に取り組む。	4	
試	8回目のレポート発表で行う				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

総合評価割合(%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合 力 指 標	知識・技術力	0	50	30	0	20	100
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	40
	協働性・リーダーシップ	0	20	10	0	0	30
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	20	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①		レポート課題については開講後に開示し、全体の50%で評価する。				授業内で評価を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	講義や意見交換への取り組みの姿勢、参加態度について全体の50%で評価する。				授業内で総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①	✓	フィードバックシートを用いて、自己の学びの意義とキャリア形成について考えたことの記載と提出を求める。記載された内容から取り組みの姿勢と意欲を評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	小石川好美						
教員の実務経験	看護教員として18年の教育・研究経験あり。						
実践的授業の内容	基礎教育は学生が学習してきた経験を用い、継続教育は専門看護師や認定看護師の看護実践内容を事例として紹介する。						
その他	今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。						